

0歳から18歳までの一貫教育のまち  
『おおつち一貫教育推進』かわら版  
大槌町は、教育を「つなげる」「ひろげる」まちです。



令和5年5月31日(水) No.10  
文責  
教育委員会学務課 吉田

・大槌町学力調査 2022年までの結果から読み取る

2017年から実施している大槌町学力調査について、分析してみました。

2017年2回目と2022年2回目の1～8年生で実施した教科の数の合計はそれぞれ28でした。

偏差値を3段階に分けて教科数の合計を下のよう表にしてみました。

偏差値	45未満	45以上50未満	50以上
2017年第2回目	13	15	0
2022年第2回目	6	20	2

大槌町の子供たちの学力は確実に伸びていることがわかります。

以前は7年生以降に大きく落ち込む傾向がありましたが、9年生と8年生の2回目の学力調査の結果推移を見ると、7年生以降に伸びている教科が増えています。

(偏差値で表示 全国を50.0としてしています。)

9年生	2022	2021	2020	2019	2018	2017
国語	48.4	46.5	46.0	46.7	48.7	47.4
数学	45.9	46.3	41.9	42.5	44.8	45.1
英語	45.5	45.9				
社会	46.7	46.5	41.5	43.2	48.2	
理科	50.9	47.6	40.5	41.4	49.3	
8年生	2022	2021	2020	2019	2018	2017
国語	46.7	44.1	43.0	45.3	45.9	46.8
数学	44.6	43.8	43.1	44.9	46	45
英語	44.4					
社会	47.3	41.2	42.9	44.5		
理科	47.3	42.8	42.6	44.0		

大槌の先生方、子どもたち、すごいね♡  
大槌型授業スタイルも定着してるね♪  
こどもセンター、きりっこスクール、コラボスクールでも力を伸ばしているね!!!



大槌型授業スタイル、短学活スタイル、家庭学習スタイルの定着や、先生方の不断の授業改善、子供たちと目指す授業像の共有、ICTの活用など日々の積み重ねの成果が学力テストの結果にも現れてきました。

放課後の学びの場での成果も確かなものになっています。

大槌町学力調査の結果の活用の仕方について、お困りの点がございましたら、教育委員会にご相談ください。

大槌型3つの学びスタイル

9年間を貫く  
授業スタイル  
短学活スタイル  
家庭学習スタイル

ポイント: 担当が変わっても、子どもも保護者も安心な  
「9年間を貫く3つの大槌型学びのスタイル  
(授業・短学活・家庭学習)」

主体的に学び続ける子どもたちを育てる

## 参考資料

### 大槌町学力検査の特徴について

① 9年間の確かな学びのデータを活用できる。

- ・ 9年間の経年変化を追うことができる。
- ・ 四分位分析から、教育課程の見直し等に活用できる。(県学調と同じ)
- ・ つまずきのポイントが明らかになるデータを得ることができる。
- ・ 学年の課題が一目でわかる学年票がある。
- ・ 個人票で答案を確認でき、復習にも活用できる。
- ・ Web分析システムで必要なデータを得ることができる。
- ・ 答案受付から15日程度でWeb公開、20日程度で資料提供
- ・ データは各学園、教育委員会、学校支援施設(大槌臨学舎)で共有できる。

※これまでの学力調査では経年変化はデータを更に自校、委員会で変換して活用しなければならなかった。また、9年間のデータを追うことができない。12月CRT、4月NRTの学力調査内容の主旨が異なるため、比較ができなかった。

② 思考・判断・表現の力を測ることができる。

- ・ 活用問題が出題されることで、前期学年(1年～4年)から全国学調や県学調に対応した学力検査を実施できる。
- ・ 前期学年(1年～4年)から教師は授業改善に役立てることができる。

※これまで実施してきた学力調査には活用の問題は含まれていない。

③ こども一人ひとりの弱点を補強する、復習プリントがついてくる。

④ 復習プリントと振り返りプリントは学校支援施設(大槌臨学舎・きりっこスクール)の学びの場で活用でき、確かな学びの定着に役立てることができる。

⑤ 毎年、講習会を開催し、データの活用の仕方や先進地の取組等を紹介していただき、本町の小中一貫教育推進に活用できる。

⇒希望がありましたら、指導主事にご相談ください。